

産業洗浄はものづくりの基盤技術です。

日本産業洗浄協議会 メールマガジン 第 100 号



メルマガ第 100 号

だぜ！！

「産業洗浄」も

よろしく

第 100 号をお送り致します。

日本産業洗浄協議会 メールマガジンは皆様のご愛顧のおかげで第 100 号を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。

早いもので 2022 年も残すところ 1 ヶ月となりました。寒さも少しずつ深まって紅葉の見所がテレビを賑わせています。行楽シーズン真っ只中ですがコロナ

第八波の心配も出てきています。
是非ご注意ください。

今月は、(1) トピックス:

【ご報告】洗浄技術検定 2022 年度(第 6 回) 1 級・2 級 オンライン事前講習会

【ご報告】洗浄技術検定 マイスター実施

【ご報告】2022 洗浄総合展ご報告

【ご報告】『2022 洗浄総合展』リアル開催結果報告書完成のご連絡

【お知らせ】産業洗浄 No30 発刊

(2) 連載:東西対決 『「野田駅」～(ペンネーム: MJ)』

(3) リレーコラム:「 ”安眠” という名の旅」 (ペンネーム: moomin)

.....
(1) トピックス
.....

【ご報告】洗浄技術検定 2022 年度(第 6 回) 1 級・2 級 オンライン事前講習会
洗浄技術検定の事前講習会が下記日程にてオンラインで開催されました。

1 回目・10 月 6 日(木) 10:00-12:00:2 級、13:00-15:30:1 級

2 回目・11 月 17 日(木) 10:00-12:00:2 級、13:00-15:30:1 級

<1 級・2 級試験>

申込受付、試験実施期間

11 月 1 日(火)～1 月 13 日(金)

【ご報告】洗浄技術検定 洗浄マイスター実施

洗浄技術検定 洗浄マイスターは 2022 年 11 月 18 日に行われました。

合格発表は 12 月の予定です。

【ご報告】2022 洗浄総合展ご報告

(1)2022 洗浄総合展の来場者数が出ましたのでご報告いたします。

2022 洗浄総合展来場社数:16,099人 併設展計:36,852人

出展社数:126 社団体(うち JICC 会員企業 36 社 97 小間)

(2)2022 洗浄総合展 オンライン会場最終報告

出展者数:9 社(うち JICC 会員企業 5 社) 会期:10 月 12 日(水)~28 日(金)(17 日間)

サイト総アクセス人数:42,410 人(2021 年は 38,178 人、4,232 名の増)

※同じ人が会期中複数回アクセスした場合も 1 人としてカウントしています。

(3)2023 洗浄総合展について

●リアル:2023 年 11 月 29 日(水)~12 月 1 日(金) /東京ビッグサイト 西1・2ホール
洗浄総合展/VACUUM 真空展/SAMPE Japan 先端材料技術展/
高精度・難加工技術展/表面改質展

国際ロボット展(~12 月 2 日まで 4 日間の開催・東1~8ホール/西3・4ホール利用)

●オンライン:2023 年 11 月 22 日(水)~12 月 8 日(金)

公式 Web サイト: <https://biz.nikkan.co.jp/eve/senjoyo/>

【ご報告】『2022 洗浄総合展』リアル開催結果報告書完成のご連絡

日刊工業新聞社より報告書が来ましたのでご報告いたします。

2022 洗浄総合展 出展ご担当者様

いつもお世話になっております。洗浄総合展事務局です。

お待たせいたしました。

標記展示会のリアル開催の結果報告書が完成しましたのでご連絡いたします。

報告書はデータでのご提供となります。

以下の URL にアップいたしましたので、お手数ではございますが、

ダウンロードのうえご確認ください。

●リアル開催 結果報告書

https://biz.nikkan.co.jp/eve/senjoyo/dl/result_senjo.pdf

オンラインの結果報告書については近日中に完成を予定しています。

オンラインへのご出展者様に改めてご案内をお送りします。

尚 2023 洗浄総合展につきましては上記「2023 洗浄総合展について」をご覧ください。

【お知らせ】産業洗浄 No30 発刊

産業洗浄 No30 が 11 月 15 日発刊されました。

○我が社の一押し

○最新トピックス

○シリーズ関連情報

○新洗浄今昔物語

○他

.....
(2) 連載:東西対決 『野田駅』~(ペンネーム:MJ)
.....

JR 環状線「野田駅」の紹介(写真ご参照)

「野田駅」は、駅番号は JR-O13。駅シンボルフラワーは「野田藤」、発車メロディは、ロシア民謡の「一週間」が使用されています。大阪市中央卸売市場が駅近くにあることと、歌詞の「日曜日に市場へ出かけ」にかけています。野田と言えば市場なので、今回は、大阪市中央卸売市場本場について紹介します。

野菜、果実、水産物などの取引の場である市場が大阪に誕生したのは、大坂城が築かれた頃でした。

その後、江戸時代に人口が増え、「天下の台所」として大阪の町が栄えるにつれて市場は各地の水路と陸路交通の要所に発展し、庶民の暮らしに広く定着するようになりました。なかでも、昭和初期までにぎわった有名な市場に「天満」、「ごこば」、「鞆(うつぼ)」、「木津」、「難波」などがありました。

第1次世界大戦が終わった大正7年頃、公設市場が設置され、同年に「米騒動」が起き、国はその対策を検討、なかでも生鮮食料品の安定供給の必要性が高まり、取引の正常化や適正な価格形成を目的として、昭和6年11月に現在の福島区野田に中央卸売市場(本場)を開場しました。

平成元年度から着手した本場の建替整備も平成14年度に完成し、市場施設を一新するとともに市場情報システムを構築するなど、生鮮食料品流通の基幹をなすシステムとして発展を続けています。

新築の業務管理棟には、全国の地方JAが事務所を開設し、名産品の売り込みに余念がありません。大阪市庁舎からも大阪市経済戦略局が事務所を移転しています。個人的には大きな大会を開催する際にスポーツ部にちよくちよく陳情に伺っています。

次回は、「福島駅」を予定しています。

お楽しみに。



.....
(3) JICC クルーによるリレーコラム 「"安眠"という名の旅」 (ペンネーム:moomin)
.....

朝起きたての腰の重さが気になっていた。もともと腰痛持ちであったが、どうも寝覚めがよろしくない。違和感で夜中目も覚める。

パンデミック後、在宅勤務時間が増え座る時間も長くなり、椅子を色々試してみた。

椅子ならまだ買い替えも出来るが、ベッドとなるとそうはいかない。
そこで、ベッドの上に敷くマットが効果あるらしいと聞きつけ、早速、半信半疑でデパートに向かった。
普段は立ち寄らない寝具売り場、所狭しと不眠解消の品々が並んでいる。
眠りに安らぎを求める人々が、こんなにもいるのかと困惑しつつ目的の品定めをした。
当然だが各社とも売り文句が違う、素材や形状も違う、そして一番の違いは、機能であり、寝る姿勢への考え方である。
面で支える、点で支える、寝返りの打ちやすさ、低反発 vs 高反発、体圧のバランス、今までベッドの上でこんなに深く寝る姿勢を考えたことがない。そもそも寝ているのだから考えない。
各売り場で「試しに寝てくれ・寝返りを打ってみてくれ」と勧められるが、店員に上から覗き込まれ、効能の解説を聞きながら、30秒ほど横になったところで違いが分からない。
少なくとも一週間程度は試してみたい。しかしそういう訳にもいかない。
迷った挙げ句に一番接客が上手だったメーカーのマットを購入(結局そこ?)。
今はその上で快眠を手に入れたはず!! 心持ち朝の腰痛も軽くなっている気もする。
だが、快眠への欲求は止まらない。次はオーダーメイド枕? その先は羽毛布団の新調?
寝具に頼る前に、やるべき事(生活改善)も多そうだが…。安眠への旅はしばらく続きそうだ。

最後までご覧いただきありがとうございました。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い致します。
▼《配信停止》をご希望の方は、お手数ですが以下をクリックし、その旨ご記入いただき送信下さい。▼

sskjicca@jicc.org

▽お送りしたこのメールは、送信専用ですのでこちらには、返信しないで下さい。▽